

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業（道路改良事業）					
地区名	一般国道 259 号（ <small>うへだ</small> 植田バイパス）					
事業箇所	<small>とよはし すぎやま とよはし いそべしたじ</small> 豊橋市杉山町～豊橋市磯辺下地町					
事業のあらまし	<p>一般国道 259 号は、三重県鳥羽市を起点とし、鳥羽港より伊良湖水道、愛知県田原市を経て豊橋市に至る延長約 70km の路線であり、渥美半島と重要港湾「三河港」や中核市である豊橋市を結ぶ主要幹線道路である。また、第 1 次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間の現道は住宅地を通過しているが歩道未整備となっており、また、周辺では、朝夕のピーク時を中心に渋滞が発生しており、物流や人の交流などの点で地域の課題となっていた。</p> <p>このため、「モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備」「渋滞のないスムーズな移動空間の提供」「地震減災対策の推進」を主な目的として、交通の円滑化を図ることにより、開発の進む三河港の港湾物流、自動車産業、果物をはじめとする農業、観光など地域を考える産業の活性化を図るとともに、豊橋中心部と渥美半島を結ぶ緊急輸送道路の強化を図るため、一般国道 259 号のバイパス道路を整備したものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備</p> <p>(2) 渋滞のないスムーズな移動空間の提供</p> <p>(3) 地震減災対策の推進</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費	内訳				
	111 億円	■工事費 30 億円、■用補費 72 億円、■その他 9 億円				
事業期間	採択年度	昭和 49 年度	着工年度	昭和 49 年度	完成年度	平成 24 年度
事業内容	バイパス整備（延長：L=5.10km、車線数：暫定 2 車線（2/4）、幅員：W=30.0m）（H24 年度供用）					
II 評価						
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>① モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区間を利用する企業へのアンケート調査結果によると、本事業により、「移動時間の短縮」（80%）、「業務効率性の向上」（60%）、「周辺道路の渋滞が緩和された」（74%）等を感じているとの回答を得た。 <p>② 渋滞のないスムーズな移動空間の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の全車交通量は約 33%減少し、大型車交通量も約 29%減少が見られ、現道からバイパスへの交通転換が図られた。 <li style="padding-left: 20px;">全車交通量：19,683 台/日（H22 センサス値）→13,096 台/日（H27 センサス値） <li style="padding-left: 20px;">大型車交通量：2,268 台/日（H22 センサス値）→1,606 台/日（H27 センサス値） ・現道の混雑度は一定の改善が図られたが、依然として 1.0 を上回る結果となった。 <li style="padding-left: 20px;">混雑度：1.36（H22 センサス値）→1.19（H27 センサス値） ・現道の旅行速度が向上した。 <li style="padding-left: 20px;">混雑時旅行速度：17.3km/h（H22 センサス値）→20.0km/h（H27 センサス値） <p>③ 地震減災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備により、第 1 次緊急輸送道路として緊急時の輸送能力が向上するとともに、代替性が確保された。消防署からは、現場到着時間が短縮したとの回答を得た。 <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備、地震減災対策の推進については、事業目標を達成している。一方、渋滞のないスムーズな移動空間の提供については、現道の旅行速度の改善は図られており、目標は概ね達成しているが、混雑度は依然として 1.0 を上回る結果となった。</p>				

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																																																								
② 事業効果の発現状況	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>前回評価時 (H20)</th> <th>実績 (H24)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>S49～H23</td> <td>S49～H24</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>25</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>71</td> <td>72</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>105</td> <td>111</td> <td>+6 億円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">効果の 算定要因</td> <td rowspan="2">交通量</td> <td>バイパス</td> <td>— 台/24h</td> <td>16,092 台/24h</td> <td rowspan="6">前回評価時：H22 センサ値 実績：H27 センサ値 混雑時旅行速度は上下線の 平均値</td> </tr> <tr> <td>現道</td> <td>19,683 台/24h</td> <td>13,096 台/24h</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">混雑時 旅行速度</td> <td>バイパス</td> <td>— km/h</td> <td>19.5km/h</td> </tr> <tr> <td>現道</td> <td>17.3km/h</td> <td>20.0km/h</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">混雑度</td> <td>バイパス</td> <td>—</td> <td>1.05～1.20</td> </tr> <tr> <td>現道</td> <td>1.36</td> <td>1.19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大型車 交通量</td> <td>バイパス</td> <td>— 台/24h</td> <td>1,805 台/24h</td> </tr> <tr> <td>現道</td> <td>2,268 台/24h</td> <td>1,606 台/24h</td> </tr> </tbody> </table>				前回評価時 (H20)	実績 (H24)	備考	事業期間		S49～H23	S49～H24		事業費 (億円)	工事費	25	30		用地補償費	71	72		その他	9	9		合計	105	111	+6 億円	効果の 算定要因	交通量	バイパス	— 台/24h	16,092 台/24h	前回評価時：H22 センサ値 実績：H27 センサ値 混雑時旅行速度は上下線の 平均値	現道	19,683 台/24h	13,096 台/24h	混雑時 旅行速度	バイパス	— km/h	19.5km/h	現道	17.3km/h	20.0km/h	混雑度	バイパス	—	1.05～1.20	現道	1.36	1.19	大型車 交通量	バイパス	— 台/24h	1,805 台/24h	現道	2,268 台/24h
		前回評価時 (H20)	実績 (H24)	備考																																																						
事業期間		S49～H23	S49～H24																																																							
事業費 (億円)	工事費	25	30																																																							
	用地補償費	71	72																																																							
	その他	9	9																																																							
	合計	105	111	+6 億円																																																						
効果の 算定要因	交通量	バイパス	— 台/24h	16,092 台/24h	前回評価時：H22 センサ値 実績：H27 センサ値 混雑時旅行速度は上下線の 平均値																																																					
		現道	19,683 台/24h	13,096 台/24h																																																						
	混雑時 旅行速度	バイパス	— km/h	19.5km/h																																																						
		現道	17.3km/h	20.0km/h																																																						
	混雑度	バイパス	—	1.05～1.20																																																						
		現道	1.36	1.19																																																						
大型車 交通量	バイパス	— 台/24h	1,805 台/24h																																																							
	現道	2,268 台/24h	1,606 台/24h																																																							
【事業期間に対する評価】		<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回評価時と比較し、計画より1年遅延しての完了となった。 																																																								
【事業費に対する評価】		<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回評価時と比較し、大きな差異はなく、ほぼ計画どおりとなった。 																																																								
【効果の算定要因に対する評価】		<ul style="list-style-type: none"> ・ 現道区間の交通量は減少(約33%減)したものの、混雑度は依然として1.0を上回り、渋滞の解消には至っていないが、旅行速度は向上していることから、本事業は一定の効果があつたと判断する。 																																																								
③ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業により、並行する現道交通がバイパスへ転換したため、現道の交通環境は改善されたものと判断する。 ・ 歩道が整備されたことにより、歩行者の安全性および快適性が向上したと判断する。 																																																									
	III 対応方針(案)																																																									
今後の事後評価の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標に対する効果が発現しており、今後の事後評価の必要性はない。 																																																									
改善措置の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標に対する効果は概ね発現しており、本事業としての改善措置の必要性はないが、暫定2車線区間の交通処理機能を強化するため、周辺道路環境に応じ、4車線化を図る必要がある。 																																																									
同種事業に反映すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定2車線整備においては、周辺の道路環境により交通が集中し、混雑する恐れがあるため、将来交通や路線前後の状況等を考慮した上で、着手時から4車線整備も含め、整備手法を検討する必要がある。 																																																									
IV 事業評価監視委員会の意見																																																										
一般国道259号(植田バイパス)の対応方針(案)[改善措置等必要なし]を了承する																																																										
V 対応方針																																																										
改善措置等必要なし																																																										